



第十一回大本營政府連絡會議開催要領（案）

一、日時 昭和十五年十月九日（土）午前九時

二、場所 宮中

三、議題 昭和十五年十月十日日華兩國交渉委員間ニ於テ妥結イキシ

カ、アルサ丁セル日華共同宣言案、基本條約案並同附屬文書

案並之キ仲ノ時局全般ノ處理要綱

四、参列者

内閣總理大臣、外務大臣、大藏大臣、陸軍大臣、海軍大臣、梶野全

章院總裁、参謀總長、軍令部總長、参謀次長、軍令部次長、参謀本

部第一部長、軍令部第一部長

興亞院總務長官、興亞院政務部長

（幹事）内閣書記官長、陸軍省軍務局長、海軍省軍務局長

五、議事進行要領

B5 タイプライター用紙

0066

第二、經濟ニ關スル件

一、支那ニ於ケル經濟指導ハ日滿支三國ノ綜合國力ノ増加ヲ指導トシ
シ隨般ノ經濟行爲ヲ我カ軍事行動ヲ容易ナラシムルコト並ニ我
カ國防經濟ニ直接必要トスル物資ノ生産及貿易ニ集中發揚シ之
ヲ我カ方ニ於テ最高度ニ吸引利用スルト共ニ其ノ敵備利用ニ對
シテハ極力之ヲ妨害阻止ノ手段ヲ講シ以テ我カ國防經濟力ノ長
期自給強化ニ寄與スルト共ニ重慶側ニ對スル經濟壓迫ヲ強化ス
ルモノトス
之カ爲メ我カ軍事政治外交及支那在來ノ習性等ヲ勘案シ支那ニ
關スル經濟ノ全般ヲ我カ指導權ノ下ニ再編成スルモノトス

内閣

B5 タイプライター用紙

0065

3
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

1 内閣總理大臣ヨリ條約締結ニ關スル件ノ提案理由説明
2 外務大臣ヨリ條約締結ニ關スル経緯並逐條説明
3 大本營側ヨリ條約ニ關スル意見開陳並時局全般ノ處理要綱提案
4 興亞院總務長官ヨリ條約及之ガ締結ニ關聯スル政治經濟文化關係處理要領説明
5 懇談會報告書
6 議決 花押
7 備考
8 場所ニ付テハ聯軍省ヨリ侍從武官府へ交渉ノコト
9 書類ハ内閣ニ於テ準備ノコト
10 服装ハ文官ハ通常服(フロックコート)又ハモーニングコート(武官ハ軍裝勳章一箇佩用)

内閣

0067



内閣總理大臣挨拶(案)

政府ヨリ提出致シマシタル案件ニ就キマシテ御説明申上ゲマス。
帝國ハ昭和十三年一月十一日御前會議決定ノ支那事變處理根本方針並昭和十三年十一月三十日御前會議決定ノ日支新關係調整方針ニ基キ、從來重慶政權ニ對シ強烈ニ武力的壓力ヲ加フル一方其ノ反省ヲ促シ、依テ以テ急速ニ支那ノ全面的屈伏ヲ強要スルト共ニ、萬一成ラザル場合ニ處スル爲新ナル政治勢力ノ育成ヲ企圖シ、之ヲ實行シ來ツタノデアリマス。
然ルニ現下ノ情勢ニ於テハ、帝國ハ重慶政權ヲ襲滅スルニ足ル陸上武力進攻ヲ斷行セザル限り、短期間ニ之ガ屈伏至難ナルヤニ察セララル一方、南京ニ樹立セラレタル新政府ハ逐次其ノ政治力ヲ増大シ來リツツアルノミナラズ、該政府ト帝國使臣トノ間ニ行ハレタル條約交渉ハ今ヤ政府ニ於テ之ガ採否ヲ決スベキ時機ニ到達シタノデアリマス。

内閣

0068

秘

發表案

内閣書記官長談

本九日午前九時ヨリ宮中ニ於テ大本營及政府連絡會議ヲ開催シ軍令部總長官殿下ヲ始メ奉リ參謀總長、内閣總理大臣、外務大臣、大藏大臣、陸軍大臣、海軍大臣、星野企畫院總裁等參集セラレ日支關係問題ニ關シ附意ナキ意見ノ開陳アリ、完全ニ意見ノ一致ヲ見タリ

陸軍省事務課長上

3月11日終了

B5タイプライター用紙

0070

内閣

又他方、世界情勢ノ變化並之ニ即應スル帝國世界政策ノ企圖遂行ノ爲ニ帝國ノ國防彈發力ノ恢復強化ヲ必要トスルヤ切ナルモノガアルノデアリマス。帝國ハ此際、眞ノ長期戦ヲ決意シ新政府ヲ承認シ、其ノ政治力ヲ強化培養シテ之ヲ我ガ方ノ事變遂行ニ協力セシムルメ方途ニ出ツルコトガ必要ト認メラレルノデアリマス。依テ政府ハ別紙條約案ニ對シ調印締結ノ手續ヲ執ラントスルモノデアリマス。尤モ條約調印後、重慶政權ノ屈伏ヲ見ル場合ニ於テハ更ニ新ナル處斷ニ出ツベキコト勿論デアリマス。

B5タイプライター用紙

0069

内閣



参列者席次(案)

陸一長 ○
陸次長 ○
陸總長 ○
海總長 ○
海次長 ○
海一長 ○

○ 興亞院政務部長
○ 陸軍軍務局長
○ 書記官長
○ 海軍軍務局長

○ 全畫院總裁
○ 海相
○ 陸相
○ 首相
○ 外相
○ 藏相
○ 興亞院總務長官

内閣

15 タイプライター用紙

0071

REEL No. A-0216

0260

アジア歴史資料センター

参考



大本營ト政府トノ連繫ニ關スル件 昭和十二年十一月十九日閣議決定

大本營ト政府トノ連繫ニ關シテハ左ノ如ク取計ラヒ度

政戰兩略ノ一致ハ事變處理ノ爲最緊要ナルニ鑑ミ特ニ大本營ト政府トノ連繫ヲ緊密ナラシムル措置ヲ講スルヲ要ス而シテ之カ連繫ハ當然陸海軍大臣之ニ膺ルト雖政戰相關聯スル重要案件ニ就テハ所要ニ應シ關係閣僚ト統帥部首腦者トノ會談ヲ行ヒ特ニ緊急重大ナル事項ニ關シテハ 御前會議ヲ奏請ス

前者ノ會談ハ內閣總理大臣、陸軍大臣、海軍大臣其ノ他必要ナル閣僚、參謀總長及軍令部總長ヲ以テシ要スレハ臨時必要ノ者ヲ加フルヲ可トスヘシ

内閣

後者ノ 御前會議ニハ前記閣僚ト參謀總長、軍令部總長ノ外ニ所要ニ應シ 勅旨ニヨリ召サレタル者ヲ列セシメ且、御前會議ノ奏請ハ通常大本營側ト政府側ト協議ノ上總理大臣又ハ兩總長之ヲ行フコトトスルヲ可トスヘシ

前者ノ會談又ハ 御前會議其ノ他ニ關スル事務ハ內閣書記官長、陸海軍省兩軍務局長常ニ密接ニ連繫シテ之ヲ處理スルモノトス

14 71717-1紙

0072

秘

拾部ノ内第 3 號

昭、一五、一六、六
政府大本營間連絡會議ニ對スル條約案提出理由案(總理大臣ヨリ)

帝國ハ昭和十三年一月十一日御前會議決定ノ支那事變處理根本方針並
昭和十三年十一月三十日御前會議決定ノ日支新關係調整方針ニ基キ從
來抗日政權ニ對シ強烈ニ武力的壓力ヲ加フルト共ニ新ナル政治勢力ノ
育成ヲ企圖シ政戰兩略ノ緊密ナル運用ニヨリ急速ニ支那ノ全面的屈伏
ヲ強要シ來レリ

然ルニ現下ノ情勢ニ於テハ帝國ハ抗日政權ヲ潰滅スルニ足ル武力進攻
ヲ斷行セサル限り短期間ニ之カ屈伏至難ナルヤニ察セラヌル一方南京
ニ樹立セラレタル新政府ハ逐次其ノ政治力ヲ増加シ來リツツアルノミ
ナラス該政府ト帝國使臣トノ間ニ行ハレタル條約交渉ハ今ヤ政府ニ於
テ之カ採否ヲ決スヘキ時機ニ到達シアリ他方世界情勢ノ變化竝之ニ即
應スル帝國ノ政策遂行ノ爲メニハ帝國ノ國防彈發力ノ恢復強化ヲ必要
トスルヤ切ナルモノアリ

0073

帝國ハ此際眞ノ長期戰ヲ決意シ新政府ニ對シテハ速ニ之ヲ承認シ其ノ
政治力ヲ強化培養シテ之ヲシテ我カ方ノ事變遂行ニ協力セシムルノ方
途ニ出ツルコト必要ナリト認メラル

依ツテ政府ハ別項條約案ニ對シ調印締結ノ手續ヲ執ラントスルモノナ

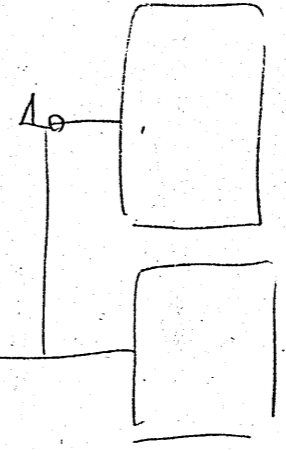
0074-1

一、 十三日午後二時

一、 通話第一、 修理

一、 現場調査 修理中にて

一、 階下に出る



1. 修理中
2. 修理中
3. 修理中
4. 修理中
5. 修理中
6. 修理中
7. 修理中
8. 修理中

1-4500

0074-2



秘

日支新關係條約ノ締結ニ關聯スル對支政策關係事項

(興亞院總務長官ヨリ)

昭、一五、一一、六

一、支那各政權ニ對スル一般的指導要領ニ關スル件

支那ニ對スル我カ政治指導ハ日支新關係條約ニ基キ我カ國防及經濟上ノ要域ヲ設定スルト共ニ新中央政府ヲシテ日滿支一體ノ精神ヲ以テ我カ專横完遂ニ協力セシムルモノトス

(東支新關係條約締結後)

之カ爲メ帝國ハ新中央政府並各要域ヲ擔當スル政府ニ對シ其ノ政權ノ性質ニ應シ夫々我カ方ヨリ必要ナル指導ヲ行フト雖モ無用ノ干渉ヲ避ケ支那側ノ政治力ヲ發揮セシムル如クスルモノトス

説明

内閣

B5 活字用紙

0075

二、新中央政府指導要領ニ關スル件

新中央政府ニ對シテハ帝國ハ益々該政府ヲ育成強化シ之ヲシテ支那ノ中央政府タルノ實ヲ舉ケシメ以テ一意帝國ノ抗日勢力ノ屈伏施策並我綜合戦力ノ緊急直接強化ニ協力セシムル如ク指導スルモノトス

(先づ我カ占據地域ニ於テ)

之カ爲メ新中央政府ヲシテ其ノ施政ノ重點ヲ先づ我カ占據地域ニ於ケル政治力ノ増強強化ニ置カシメ抗日政權ニ對シテハ我カ方ト密ニ連絡シ活潑ナル闘争ヲ展開セシメ依ツテ以テ新中央政府以外ノ勢力ヲ逐次新中央政府ニ統合し新シムル如ク指導スルモノトス

余下ニ收斂

説明

内閣

B5 活字用紙

0076

三、共同防共ノ取扱ニ關スル件
共同防共ニ關シテハ帝國ハ國際關係殊ニ日蘇國交調整トノ關係ヲ睨
ミ合セ支那側ト緊密ニ協力シ差營リ中國共產黨及中國共產軍ヲ徹底
的ニ剷滅スル如ク指導スルモノトス

説明

内
閣

B5 5イブライター用紙

0077

四、新中央政府ノ第三國外交指導ニ關スル件
新中央政府ノ對第三國外交ハ帝國ノ外交方針ニ協調シ速ニ多數ノ友
好國家ヲ獲得スル如ク指導スルモノトス

説明

内
閣

B5 5イブライター用紙

0078

五 經濟指導ニ關スル件

支那ニ於ケル經濟（財政金融ヲ含ム）ノ指導ハ日滿支三國ノ綜合國力ノ増加ヲ目標トシ我ガ國防經濟力ノ長期自給強化ニ寄與スルト共ニ重慶側ニ對スル經濟壓迫ヲ強化スルモノトス
之カ爲メ支那ニ於ケル經濟ヲ我カ指導權下ニ把握ス但右ニ付テハ我カ軍事政治外交經濟ノ特種ヲ充分スルモノトス

說明 一、對支經濟緊急對策（物資關係）

二、其他

内 閣

B5 タイプライター用紙

0079

六 對支政務關係ノ機構ノ統合強化ニ關スル件

新中央政府ノ承認ニ伴ヒ我カ對支政務關係機構ハ前諸項ノ遂行ニ即應スルト共ニ其ノ機能ヲ強力ニ發揮セシムル爲メ之等諸機關ヲ一元的ナラシムル如ク統合強化スルモノトス

說明

内 閣

B5 タイプライター用紙

0080

大本營連絡會議ニ於ケル外務大臣説明要旨(案)

(昭和十五、一一、四 張一)

極秘

0081

第一條約締結ニ至レル経緯

(イ) 事變發生以來帝國政府ニ於テハ凶敵兩略ヲ盡シテ事變目的達成ニ邁進シ來レルカ昭和十三年一月十一日 御前會議ニ於テ支那事變處理根本方針トシテ日支間新國交ノ規準ヲ定メラレ爾來蔣政權ニ對スル軍事行動ト併行シテ新興政權ノ育成ニ力ヲ致セリ

(ロ) 昭和十三年十一月三十日 御前會議ニ於テ日支新國交調整方針ヲ決定セラレ續イテ同年十二月二十二日近衛總理大臣談ヲ以テ事變ニ關スル帝國政府ノ所信ヲ中外ニ宣明セラレタルカ後間モナク汪精衛ノ重慶脱出ヲ見タリ

(ハ) 爾後汪精衛及其ノ同志ハ我方ノ援助ヲ得ツツ既成政權トノ連絡及一般同志トノ提携ニ努メ着々新政府成立ノ準備ヲ進メタルニ

0082

依り我方出先機關ニ於テハ汪精衛トノ間ニ前記日支新關係調整方針ニ基キ日支國交調整ニ關スル意見ヲ交換シ其ノ結果昭和十四年十二月三十日意見ノ一致ヲ見タル點ヲ「協議書類」ニ取纏メタルカ右書類ニ付昭和十五年一月八日ノ閣議ニ於テ「帝國政府トシテハ一應之ニ了解ヲ與ヘ速ニ中央政府ヲ樹立セシムルコトトスル」旨決定セリ

(二) 眞ノ後國民政府ノ成立ヲ見タルヲ以テ政府ニ於テハ昭和十五年四月阿部特命全權大使ヲ南京ニ特派スルト共ニ新條約ノ締結ヲ以テ同政府ノ正式承認ヲ行フ方針ノ下ニ準備ヲナシ同年六月十五日阿部大使ニ對シ條約締結交渉開始方訓令、右ニ基キ同大使汪精衛間ニ慎重交渉、折衝行ハレ八月三十一日日華間基本關係

0083

ニ歸スル條約及附屬文書ノ案文ニ「イニシアル」ヲ了シ更ニ十月一日右修正案ニ「イニシアル」ヲ了スルニ至レリ

第二本條約ノ特殊性

本條約ハ帝國カ支那ニ於ケル抗日勢力ニ對シ大規模ナル戰爭行爲ヲ繼續シツツ帝國軍隊ノ占據地域内ニ於テ成立セル中華民國國民政府ヲ相手トシテ締結セラルルモノナル點ニ於テ通常交戰國間ニ於テ締結セラルル講和條約ト本質的ニ趣ヲ異ニスルモノニシテ即チ新條約ノ内容ハ事變ノ善後處置及今後久シキニ亘ル日華兩國關係ノ規程ヲ定ムルモノナル一方内ニアリテハ帝國國民ノ士氣ヲ振作シ今次事變ノ目的完遂ニ關スル國民的結束ヲ鞏クシ外ニ於テハ中華民族人心ヲ把握シテ事變解決ノ促進ニ資シ又第三國ニ對シテ

0084

ハ帝國ノ國策遂行ニ關スル不動ノ決意及其ノ具體的限界ヲ明示スルノ意義ヲ有スル次第ナリ

尙本條約ノ締結ハ戰爭行爲ノ遂行ニ付拘束ヲ加フルモノニ非サルコトハ勿論ニシテ國民政府モ事變解決ノ爲我方ト密接ニ協力スル意嚮ナリ

第三 本條約ノ内容

(一) 公表セラルヘキモノ

(1) 日華滿共同宣言

日華滿三國政府ノ緊密ナル提携ニヨリ道義ニ基ク東亞新秩序建設ノ理想ト決意トヲ述フルト共ニ之カ爲三國相互ニ主權及領土ヲ尊重スルコト、互意ヲ基調トスル三國間ノ提携就中善隣友好共同防共經濟提携ノ實ヲ

0086

舉クル爲各般ノ手段ヲ講スヘキコトヲ宣言ス

(2) 日華間基本關係ニ關スル條約

善隣友好ノ關係ヲ維持センカ爲政治、經濟、文化各般ニ互リ互助敦睦ノ手段ヲ講シ兩國ノ厚誼ヲ破壞スルカ如キ措置、原因ノ撤廢ヲ約スルト共ニ共同防共ニ關スル措置右ニ基ク日本國軍ノ駐屯及經濟提携具現ノ爲ノ原則的事項ヲ述フ

(3) 附屬議定書

前記基本條約署名ニ關聯シ左ノ通り協定ス

- (1) 戰爭遂行ニ伴フ特殊事變ノ承認及臨時政府維新政府等ノ辦シタル事項ノ繼承並ニ以上ノ調整
- (2) 日本軍ノ撤兵ニ關スル事項

0085

(一) 附屬議定書ニ關スル日華兩國全權委員間了解事項案

右附屬議定書ニ關聯シ我方ハ國民政府ノ立場ヲ考慮シ軍事上ノ必要ト中華民國ノ財政獨立、貿易ニ關スル統制、合辦事業ノ修正等ニ關シ調査ヲナスヘキ旨ヲ諒解ス

(二) 秘密ニ附セラルヘキモノ

(1) 附屬秘密協約

艦船部隊ノ駐留ニ關聯スル軍事協力、廈門及海南島等ニ於ケル資源ノ利用等ニ付規定ス

(2) 附屬秘密協定

外交ニ關スル兩國政府ノ協調、中陸内ニ於ケル日本軍駐屯地域ニ關聯スル鐵道、航空、通信、港灣、

0087

水路等ニ關スル日本軍ノ要求等ニ付規定ス

(3) 秘密交換公文(甲)

更ニ日華從務上必要ナル地方的特殊事情ニ關スル件即チ蒙疆、華北、揚子江下流地域、海南島方面等ノ特殊地位ニ關スル支那側ノ措置ヲ日本側ニ通報スル形式ノ秘密公文及右ヲ諒承スル日本側ノ秘密公文ヲ交換ス

(4) 秘密交換公文(乙)

附屬議定書第一條日本側ノ戰爭行為ニ對スル中華民國側ノ措置ハ「積極的協力」ナルヘキ旨ノ了解ニ關スル交換公文ナリ
尚以上ニ付「軍事支援率」ニ於テ條約ト協議管類トノ關係其他ニ付疑義ヲ明ニシテ示レリ

0088

大本營連絡會議ニ於ケル外務大臣説明要旨(案)

(昭和十五年十一月四日)

極秘

0089

第一條約締結ニ至レル経緯

(1) 事變發生以來帝國政府ニ於テハ凶戰兩略ヲ盡シテ事變目的達成ニ邁進シ來レルカ昭和十三年一月十一日 御前會議ニ於テ支那事變處理根本方針トシテ日支間新外交ノ規程ヲ定メラレ爾來蔣政権ニ對スル軍事行動ト併行シテ新興政権ノ育成ニ力ヲ致セリ

(2) 昭和十三年十一月三十日 御前會議ニ於テ日支新外交調整方針ヲ決定セラレ續イテ同年十二月二十二日近衛總理大臣談ヲ以テ事變ニ關スル帝國政府ノ所信ヲ中外ニ宣明セラレタルカ後間モナク汪精衛ノ重慶脱出ヲ見タリ

ハ爾後汪精衛及其ノ同志ハ我方ノ援助ヲ得ツツ既成政権トノ連絡及一般同志トノ提携ニ努メ着々新政府成立ノ準備ヲ進メタルニ

0090

依リ我方出先機關ニ於テハ汪精衛トノ間ニ前記日支新關係調整
方針ニ基キ日支外交調整ニ關スル意見ヲ交換シ其ノ結果昭和十
四年十二月三十日意見ノ一致ヲ見タル點ヲ「協議書類」ニ取
メタルカ右書類ニ付昭和十五年一月八日ノ關聯ニ於テ「帝國政
府トシテハ一應之ニ了解ヲ與ヘ速ニ中央政府ヲ樹立セシムルコ
トトス」ル旨決定セリ

(二) 其ノ後國民政府ノ成立ヲ見タルヲ以テ政府ニ於テハ昭和十五年
四月阿部特命全權大使ヲ南京ニ特派スルト共ニ新條約ノ締結ヲ
以テ同政府ノ正式承認ヲ行フ方針ノ下ニ準備ヲナシ同年六月十
五日阿部大使ニ對シ條約締結交渉開始方訓令、右ニ基キ同大使
汪精衛間ニ慎重審議、折衝行ハレ八月三十一日華間基本關係

ニ歸スル條約及附屬文書ノ案文ニ「イニシアル」ヲ了シ更ニ十
月一日右修正案ニ「イニシアル」ヲ了スルニ至レリ

第二本條約ノ特殊性

本條約ハ帝國カ支那ニ於ケル抗日勢力ニ對シ大規模ナル戰爭行爲
ヲ繼續シツツ帝國軍隊ノ占據地域内ニ於テ成立セル中華民國國民
政府ヲ相手トシテ締結セラルルモノナル點ニ於テ通常交戦國間ニ
於テ締結セラルル講和條約ト本質的ニ趣ヲ異ニスルモノニシテ即
チ新條約ノ内容ハ事變ノ善後處置及今後久シキニ亘ル日華兩國間
係ノ規準ヲ定ムルモノナル一方内ニアリテハ帝國國民ノ士氣ヲ振
作シ今次事變ノ目的完遂ニ對スル國民的結束ヲ鞏クシ外ニ於テハ
中露民間人心ヲ裨益シテ事變解決ノ促進ニ資シ又第三國ニ對シテ

ハ帝國ノ國策遂行ニ即スル不動ノ決意及其ノ具體的限界ヲ明示スルノ意義ヲ有スル次第ナリ
尙本條約ノ締結ハ戰爭行爲ノ遂行ニ付拘束ヲ加フルモノニ非サルコトハ勿論ニシテ國民政府モ事變解決ノ爲我方ト密接ニ協力スル意嚮ナリ

第三本條約ノ内容

(一)公表セラルヘキモノ

(1)日華滿共同宣言

日華滿三國政府ノ緊密ナル提携ニヨリ道義ニ基ク東亞新秩序建設ノ理想ト決意トヲ述フルト共ニ之カ爲三國相互ニ主權及領土ヲ尊重スルコト、互惠ヲ基調トスル三國間ノ提携就中善隣友好共同防共經濟提携ノ實ヲ

0093

舉グル爲各般ノ手段ヲ講スヘキコトヲ宣言ス

(2)日華間基本關係ニ關スル條約

善隣友好ノ關係ヲ維持センカ爲政治、經濟、文化各般ニ互リ互助敦睦ノ手段ヲ講シ兩國ノ厚誼ヲ破壞スルカ如キ借置、原因ノ撤廢ヲ約スルト共ニ共同防共ニ關スル借置右ニ基ク日本國軍ノ駐屯及經濟提携具現ノ爲ノ原則的事項ヲ述フ

(3)附屬議定書

前記基本條約署名ニ關聯シ左ノ通り協定ス

(1)戰爭遂行ニ伴フ特殊事項ノ承認及臨時政府維新政府等ノ辦シ

タル事項ノ繼承並ニ以上ノ調査

(2)日本軍ノ撤兵ニ關スル事項

0094

(一) 附屬議定書ニ關スル日華兩國全權委員間了解事項案
右附屬議定書ニ關聯シ我方ハ國民政府ノ立場ヲ考慮シ軍事上ノ
必要ト中華民國ノ財政獨立、貿易ニ關スル統制、合辦事業ノ條
正等ニ關シ調査ヲナスヘキ旨ヲ諒解ス

(二) 秘密ニ附セラルヘキモノ

(1) 附屬秘密協約

艦船部隊ノ駐留ニ關聯スル軍事協力、廈門及海南島等ニ於ケル
資源ノ利用等ニ付規定ス

(2) 附屬秘密協定

外交ニ關スル兩國政府ノ協議、中陸内ニ於ケル
日本軍駐屯地域ニ關聯スル鐵道、航空、通信、港灣、

水路等ニ關スル日本軍ノ要求等ニ付規定ス

(3) 秘密交換公文 (甲)

更ニ日華境界上必要ナル地方的特殊事情ニ關スル件即チ蒙疆、
華北、揚子江下流地域、海南島方面等ノ特殊地位ニ關スル支那
側ノ措置ヲ日本側ニ通報スル形式ノ秘密公文及右ヲ諒承スル日
本側ノ秘密公文ヲ交換ス

(4) 秘密交換公文 (乙)

附屬議定書第一條日本國ノ戦争行爲ニ對スル中華民國側ノ措置
ハ「積極的協力」ナルヘキ旨ノ了解ニ關スル交換公文ナリ
尚以上ニ付「議事録抜萃」ニ於テ條約ト協議書類トノ關係其他
「附屬議定書」明ニシテ

大本營連絡會議ニ於ケル外務大臣説明要旨(案)

(昭和十五年、一一、四、一)

極秘

0097

第二條約締結ニ至レル経緯

(1) 事變發生以來帝國政府ニ於テハ政略兩略ヲ盡シテ事變目的達成ニ邁進シ來レルカ昭和十三年一月十一日 御前會議ニ於テ支那事變處理根本方針トシテ日支間新外交ノ規準ヲ定メテ爾來蔣政権ニ對スル軍事行動ト併行シテ新興政権ノ育成ニ力ヲ致セリ

(2) 昭和十三年十一月三十日 御前會議ニ於テ日支新外交調整方針ヲ決定セラレ續イテ同年十二月二十二日近衛總理大臣談ヲ以テ事變ニ關スル帝國政府ノ所信ヲ中外ニ宣明セラレタルカ後間モナク汪精衛ノ重慶脱出ヲ見タリ

(3) 爾後汪精衛及其ノ同志ハ我方ノ援助ヲ得ツツ既成政権トノ連絡及一般同志トノ提携ニ努メ着々新政府成立ノ準備ヲ進メタルニ

0098

依り我方出先機關ニ於テハ汪精衛トノ間ニ前記日支新關係調整方針ニ基キ日支國交調整ニ關スル意見ヲ交換シ其ノ結果昭和十四年十二月三十日意見ノ一致ヲ見タル點ヲ「協議書類」ニ取纏メタルカ右書類ニ付昭和十五年一月八日ノ閣議ニ於テ「帝國政府トシテハ一應之ニ了解ヲ與ヘ速ニ中央政府ヲ樹立セシムルコトトス」ル旨決定セリ

(二)其ノ後國民政府ノ成立ヲ見タルヲ以テ政府ニ於テハ昭和十五年四月阿部特命全權大使ヲ南京ニ特派スルト共ニ新條約ノ締結ヲ以テ同政府ノ正式承認ヲ行フ方針ノ下ニ準備ヲナシ同年六月十五日阿部大使ニ對シ條約締結交渉開始方訓令、右ニ基キ同大使汪精衛間ニ慎重談判、折衝行ハレ八月三十一日日華間基本關係

0099

ニ關スル條約及附屬文書ノ案文ニ「イニシアブル」ヲ了シ更ニ十月一日右修正案ニ「イニシアブル」ヲ了スルニ至レリ

第二本條約ノ特殊性

本條約ハ帝國カ支那ニ於ケル抗日勢力ニ對シ大規模ナル戰爭行爲ヲ繼續シツツ帝國軍隊ノ占據地域内ニ於テ成立セル中華民國國民政府ヲ相手トシテ締結セラルルモノナル點ニ於テ通常交戦國間ニ於テ締結セラルル講和條約ト本質的ニ趣ヲ異ニスルモノニシテ即チ新條約ノ内容ハ事變ノ善後處置及今後久シキニ亘ル日華兩國關係ノ規準ヲ定ムルモノナル一方内ニアリテハ帝國國民ノ士氣ヲ振作シ今次事變ノ目的完遂ニ對スル國民的結束ヲ鞏クシ外ニ於テハ中華民族人心ヲ把握シテ事變解決ノ促進ニ資シ又第三國ニ對シテ

0100

ハ帝國ノ國策遂行ニ關スル不動ノ決意及其ノ具體的限界ヲ明示スルノ意義ヲ有スル次第ナリ
尙本條約ノ締結ハ戰爭行爲ノ遂行ニ付拘束ヲ加フルモノニ非サルコトハ勿論ニシテ國民政府モ事變解決ノ爲我方ト密接ニ協力スル意嚮ナリ

第三本條約ノ内容

(一)公表セラルヘキモノ

(1)日華滿共同宣言

日華滿三國政府ノ緊密ナル提携ニヨリ道義ニ基ク東亞新秩序建設ノ理想ト決意トヲ述フルト共ニ之カ爲三國相互ニ主權及領土ヲ尊重スルコト、互惠ヲ基調トスル三國間ノ提携就中善隣友好共同防共經濟提携ノ實ヲ

舉クル爲各般ノ手段ヲ講スヘキコトヲ宣言ス

(2)日華間基本關係ニ關スル條約

善隣友好ノ關係ヲ維持センカ爲政治、經濟、文化各般ニ互リ互助敦睦ノ手段ヲ講シ兩國ノ厚誼ヲ破壞スルカ如キ措置、原因ノ撤廢ヲ約スルト共ニ共同防共ニ關スル措置右ニ基ク日本國軍ノ駐屯及經濟提携具現ノ爲ノ原則的事項ヲ述フ

(3)附屬議定書

前記基本條約署名ニ關聯シ左ノ通り協定ス

(1)戰爭遂行ニ伴フ特殊事項ノ承認及臨時政府維新政府等ノ辨シ

タル事項ノ繼承並ニ以上ノ調整

(2)日本軍ノ撤兵ニ關スル事項

(一) 附屬議定書ニ關スル日華兩國全權委員間了解事項案
 右附屬議定書ニ關聯シ我方ハ國民政府ノ立場ヲ考慮シ軍事上ノ
 必要ト中華民國ノ財政獨立、貿易ニ關スル統制、合辦事業ノ修
 正等ニ關シ調査ヲナスヘキ旨ヲ諒解ス

(二) 秘密ニ附セラルヘキモノ

(1) 附屬秘密協約

造船部派ノ駐留ニ關聯スル軍事協力、廈門及海南島等ニ於ケル
 資源ノ利用等ニ付規定ス

(2) 附屬秘密協定

外交ニ關スル兩國政府ノ協同、中略内ニ於ケル
 日本軍駐屯地域ニ關聯スル鐵道、航空、通信、港灣、

水路等ニ關スル日本軍ノ要求等ニ付規定ス

(3) 秘密交換公文(甲)

更ニ日華提携上必要ナル地方的特殊事情ニ關スル件即チ蒙疆、
 華北、揚子江下流地域、海南島方面等ノ特殊地位ニ關スル支那
 側ノ措置ヲ日本側ニ通報スル形式ノ秘密公文及右ヲ諒承スル日
 本側ノ秘密公文ヲ交換ス

(4) 秘密交換公文(乙)

附屬議定書第一條日本國ノ戰爭行爲ニ對スル中華民國側ノ措置
 ハ「積極的協力」ナルヘキ旨ノ了解ニ關スル交換公文ナリ
 尚以上ニ付「議事録抜萃」ニ於テ條約ト協議書類トノ關係其他
 ニ付疑義ヲ明ニシ活レリ

極秘

拾部ノ内第6號

日獨伊三國同盟ニ關聯スル支那事變對處要綱說明

支那事變ガ單ナル支那相手ノ事變ニアラザルハ支那夫レ自體ノ國際的
性格ニ基ク本質的事實ニシテ今ヤ世界ノ變局ト相關聯シ益々其然ル所
以テ明瞭ナラシメツツアリ之ヲ以テ支那事變ノ完遂ハ世界的變局ニ處
スル帝國ノ方途其宜シキヲ制シテ初メテ其果ヲ結フモノニシテ日、獨
伊三國同盟ハ茲ニ其途ヲ決定セラレタルモノニシテ今後ニ於ケル事變
ノ完遂ハ該同盟ノ意圖スル處ニ照應シ推進セラレザルベカラズ而カモ
帝國ガ如何ナル方途ヲ採ルニ拘ラズ之ヲ發展進行スル根底力ガ帝國
防力ニ存スルコトハ不動ノ原則ニシテ三國同盟ノ意圖政ニ之ヲ測ル國
際政局ノ前途ヲ連續スル時益々其然ル所以ヲ痛感ス今ヤ帝國ハ舊來ノ
如キ單ニ支那ノミヲ相手トスル事變處理方針ヲ一掃シ世界的規模ニ於
テ之ヲ完遂ヲ期セザルベカラズ之ガ爲メニハ極東ヲ中心トスル國際戰

0104-2

0104-3

事ニ必勝ヲ期シ得ル帝國國防力ノ保有強化ヲ根本方針ト爲シ該方針下
ニ各般ノ事象ヲ練スルコト絶對ニ必要ナリ然リ而シテ國防力強化ノ爲
メニハ物、心兩界ニ將々亦内外各般ノ事象ニ互リ施行スベキコト多ク
アルモノ之ヲ支那關係部面ニ關シ考察スルニ概ネ別紙要綱ニ則リ一切
ヲ舉ゲテ國防増強力ノ恢復増強ニ隨一實行セラレコト必要ナリトス

極秘

拾部ノ内第 6 號

支那事變對處要綱
方針

今後ニ於ケル支那事變ハ政戰兩略共ニ日、獨、伊三國同盟締結ノ意趣ニ基ク帝國ノ企圖遂行上必要ナル帝國國防力ノ彈發性ヲ恢復増強スルコトヲ主眼トシテ處理遂行セラルルヲ要ス

要領

- 一、別紙要領ニヨリ速カニ日支兩國間ニ息戰和平ノ相來ヲ期スルコト
- 二、日支間ニ急速ナル合意ノ息戰和平成立セサル場合ニ於テモ國防力ノ彈發性ヲ恢復増強スル爲メ將來ノ大局ヲ遠觀シ且ツ經濟建設トモ照應シ占領地域ノ縮少其他消耗避ノ方途ヲ探ルコト
- 三、經濟建設ハ、日、滿兩方面ノ事情ト關連シ其地域ヲ絶對的必要最少限ニ制限シ且ツ該地域内ニ於テモ國防資源ノ開發取得ニ徹底スルコト

0105

0106

- 四、支那民心ノ把握ハ皇軍占領地域ノ徹底的武力肅清ト産業開發ニヨル良民ノ安定ヲ根基トシ且ツ占領地域外ニ對スル皇軍隨時ノ出動ニヨル武威ノ宣揚ト之ニ併行スル宣撫トニヨリ其實效ヲ期スルコト
- 五、支那ノ國際經濟上ノ地位特ニ上海、廣東等ノ活用ニヨリ帝國ノ第三國ヨリノ輸入必要物資ヲ組織的ニ取得ス之カ爲メ上海共同租界ハ治安ノ確立ニ基クシキ支障ナキ限リ當分其國際的色彩ノ現状ヲ持續スルコト
- 尙占領地域内ニ在支第三國人ヲモ不足物資輸入ニ活用スルコト
- 六、前項實行ニ當リテハ之カ爲メ蔣軍壓迫ニ多少ノ不利ヲ招來スルコトアルモ其實行ニヨリ全般的國防力強化ニ益スル處大ナルモノニ就テハ着々之カ實行ヲ期スルコト
- 七、支那政府ノ補育指導ハ概ネ既定方針ニ基キ前各項ノ實行ニ則應シツツ益々之レヲ強化ス

八、以上各般ノ實行ヲ活發圓滑ナラシムル爲メ更ニ中央ノ統制ヲ強化シ
時ニ出先キニ於ケル政治、經濟、文化等ノ政略業務ト作戰用兵等ノ
戰略業務トノ分界ヲ明カニシ各々其職域ヲ恪守セシムルコト

0107

極秘

拾部ノ内第6號

對重慶和平交渉ノ件

一、帝國政府ハ概シテ南京政府トノ間ニ成立ヲ見ントスル基本條約（海
南島ニ關スル附屬秘密協定ヲ含ム）ニ準據シ重慶政権トノ間ニ和平
交渉ヲ行フモノトス（別紙參照）

二、右和平交渉ハ汪蔣合作ヲ意圖シ先ツ日支ノ直接交渉ニヨリ之レヲ行
フモノトス

本交渉ハ十月中ニ實效ヲ收ムルヲ期ス

三、前第二項交渉ノ情況ニヨリ本和平交渉ヲ容易ナラシムル爲メ要スレ
ハ獨逸ヲシテ之カ中介タラシムルト共ニ對蘇國交調整ヲモ利用スル
コトアルモノトス

（終）

0108

第一項 日本側要求條件試案

- 一、支那ハ滿洲國ヲ承認スルコト
- 二、支那ハ抗日政策ヲ放棄シ日支善隣友好關係ヲ樹立シ世界ノ新情勢ニ對應スル爲日本ト共同シテ東亞ノ防衛ニ當ルコト
- 三、東亞共同防衛ノ見地ヨリ必要ト認ムル期間支那ハ日本カ左記駐兵ヲ行フコトヲ認ムルコト
 - (一) 防共ノ爲蒙疆及北支三省ニ軍隊ヲ駐屯ス
 - (二) 支那海交通ノ安全ヲ確保スル爲海南島及南支沿岸特定地點ニ艦船部隊ヲ留駐ス
- 四、支那ハ日本カ前項地域ニ於テ國防上必要ナル資源ヲ開發利用スルコト

トヲ認ムルコト

五、支那ハ日本カ揚子江下流三角地帯ニ一定期間保護駐兵ヲナスコトヲ認ムルコト(情況ニ依リ機宜取捨ス)

(註)

右條件ノ外左記我方要求ハ實質的ニ之ヲ貫徹スルニ努ムルヲ要ス

記

一、蔣、汪兩政權ノ合作ハ日本ノ立場ヲ尊重シソソ國內問題トシテ處理スルコト

二、日支ノ緊密ナル經濟提携ヲ具現スルコト

三、日支ノ緊密ナル經濟提携ヲ具現スルコト
經濟合作ノ方法ニ關シテハ從來ノ方法ヲ固執セズ平等主義ニヨリ

形式的ニハ勢ヲテ支那側ノ面子ヲ尊重スルモノトス
三、經濟ニ關スル現狀ノ調整ハ日支双方ニ混亂ヲ生ゼシメサル様充分
ナル考慮ヲ以テ處理スルコト

(終)

0111

REEL No. A-0216

0203

アジア歴史資料センター

極秘

陸軍

現下ノ情勢ニ應スル對支處理方策
方 針 (大本營連絡會議附議案)

帝國ハ政戰兩略ヲ更ニ統合強化シ全力ヲ盡シテ速ニ重慶政權ノ屈伏
ヲ期ス

右時機ハ遅クモ昭和十五年末ヲ目途トス

昭和十五年末ニ至ルモ重慶政權屈伏セサルニ於テハ情勢ノ如何ヲ問
ハス長期戰方略ヘノ轉移ヲ敢行シ情勢各般ノ推移ニ對應セシムルモ
ノトシ今ヨリ直ニ之カ企畫準備ニ着手ス

要 領

一、昭和十五年末迄ニ於ケル對支武力戰指導ハ政略ノ遂行ヲ支援スル

ヲ主眼トシ敵ノ繼戰企圖ヲ破推ス

二、對重慶和平交渉ニ關スル施策左ノ如シ

(一)帝國政府ハ概シテ新中央政府トノ間ニ成立ヲ見ントスル基本條
約(之ト一體ヲナスヘキ艦船部隊ノ駐留及海南島ノ經濟開發ニ
關スル秘密協定ヲ含ム)ニ準據シ重慶政權トノ間ニ和平交渉ヲ
行フモノトス

本趣旨ニ基ク日本側要求條件試案別紙ノ如シ

右和平交渉ハ汪蔣合作ヲ意圖シ先ヅ日支間ノ直接交渉ニ依リ之
ヲ行ヒ概ネ十月中ニ其ノ實效ヲ收メシムコトヲ期ス

本交渉ヲ促進スル爲獨逸ヲシテ之カ仲介タラシム

0110

0112

國交調整ヲモ利用スルコトアルモノトス

(一)重慶政權ニ對スル和平工作ハ帝國政府ニ於テ行フモノトス(從來軍民ニ依リテ行ハレタル和平ノ爲ノ諸工作ハ一切之ヲ中止ス)
(二)支那側ノ實施スル南京、重慶ノ合作工作ハ之ヲ促進セシムルモノトシ帝國ハ之ニ對シ側面的援助ヲナス

三、新中央政府ニ對スル條約交渉並之ニ關聯スル承認ノ事務ハ差當リ自然ノ經過ニ依ルモノトス

四、昭和十五年末ニ至ルモ重慶政權屈伏セサルニ於テハ帝國ハ自主的ニ長期戰態勢ニ轉移スルモノトシ之ニ應ズル如ク諸政策ヲ轉換ス
(一)本力爲新中央政府ヲ我事變處理ニ協カスル盟邦トシテ承認育成

シ支那ニ於ケル政治經濟思想ニ關スル諸施策ヲ綜合強化シ之ニ即應スル如ク諸機關ノ整理ヲ行フモノトス

(二)長期武力戰指導ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

0110

0113

日本側要求條件試案
(本件件大石の日記ニ於キ極力取捨修正を了スルコト)
 一、支那ハ滿洲國ヲ承認スルコト

(本項具現ノ方式並時期ニ付テハ別途考慮スルコトヲ得)

二、支那ハ抗日政策ヲ放棄シ日支善隣友好關係ヲ樹立シ世界ノ新情勢

ニ對應スル爲日本ト共同シテ東亞ノ防衛ニ當ルコト

三、東亞共同防衛ノ見地ヨリ必要ト認ムル期間支那ハ日本カ左記駐兵ヲ行フコトヲ認ムルコト

(一) 蒙疆及北支三省ニ軍隊ヲ駐屯ス

(二) 海南島及南支沿岸特定地點ニ艦船部隊ヲ留駐ス

四、支那ハ日本カ前項地域ニ於テ國防上必要ナル資源ヲ開發利用スル

コトヲ認ムルコト

五、支那ハ日本カ揚子江下流三角地帯ニ一定期間保證駐兵ヲナスコト

ヲ認ムルコト(情況ニ依リ機宜取捨ス)

(註)

右條件ノ外左記我方要求ハ實質的ニ之ヲ貫徹スルニ努ムルヲ要ス

記

一、蔣、汪兩政權ノ合作ハ日本ノ立場ヲ尊重シツツ國內問題トシテ處理スルコト

二、日支ノ緊密ナル經濟提携ヲ具現スルコト

陸
軍

經濟合作ノ方法ニ關シテハ從來ノ方法ヲ固執セス平等主義ニヨリ
形式的ニハ努メテ支那側ノ面子ヲ尊重スルモノトス
三、經濟ニ關スル現狀ノ調整ハ日支双方ニ混亂ヲ生セシメサル様充分
ナル考慮ヲ以テ處理スルコト

0115

REEL No. A-0216

極秘

五部ノ内第2號

支那事變處理要綱

一五 一〇 八

方針

日、獨、伊三國同盟ノ活用ニヨリ英米援蔣行爲ノ禁絶ヲ更ニ強化シ且ツ日、蘇國交ヲ調整シ以テ重慶政權ノ抗戰意志ヲ衰滅セシメ速カニ之トノ合意的息戰和平ヲ期スルト共ニ大東亞新秩序建設ノ爲メ必要トスル帝國國防ノ彈發性ヲ恢復増強スルコトヲ主眼トシ事變ノ處理遂行ヲ期ス

要領

一、重慶政權ヲ相手トスル息戰和平ノ諸工作ハ左記要領ニヨリ概ネ昭和十五年末迄ニ其實效ヲ收ムルコトヲ目途トシ之ヲ行フ

0117

(一)帝國政府ハ概シテ新中央政府トノ間ニ成立ヲ見ントスル基本條約

(之ト一體ヲナスヘキ艦船部隊ノ駐留及海南島ノ經濟開發ニ關スル秘密協約ヲ含ム)ニ準據シ重慶政權トノ間ニ和平交渉ヲ行フモノトス

本趣旨ニ基ク日本側要求條件試案別紙ノ如シ

右和平交渉ハ汪蔣合作ヲ意圖シ日支間ノ直接交渉ニ依リ之ヲ行ヒ概ネ十月中ニ其實效ヲ收メメントヲ期ス

尙本交渉ヲ容易ナラシムル爲獨逸ヲシテ之カ仲介タラシムルト共ニ對蘇國交調整ヲモ利用ス

(二)重慶政權ニ對スル和平工作ハ帝國政府ニ於テ行フモノトス(從來軍民ニ依リテ行ハレタル和平ノ爲ノ諸工作ハ一切之ヲ中止ス)

0116

(三) 支那側ノ實施スル南京、重慶ノ合作工作ハ之ヲ促進セシムルモノトシ帝國ハ之ニ對シ側面的援助ヲナス

(四) 新中央政府ニ對スル條約交渉並之ニ關聯スル承認ノ事務ハ差當リ自然ノ經過ニ依ルモノトス

ニ、昭和十五年末ニ至ルモ重慶政權屈伏セサルニ於テハ情勢ノ如何ニ拘ラス概ネ左記要領ニヨリ長期戰方略ヘノ轉移ヲ敢行ス

(一) 武力戰態勢ハ主トシテ蒙疆、北支ノ要域及漢口ヨリ下流揚子江流域ノ要點並ニ海南嶋及廣東ノ一角ヲ確保シ常ニ用兵の彈發力ヲ保持スルト共ニ占領地域内ノ徹底的治安肅清ヲ期ス

(二) 新中央政府ヲ我カ事變遂行ニ協力スル盟邦トシテ承認育成シ其政治力ヲ強化ス

0118

(三) 經濟建設ハ日滿兩方面ノ事情ト關聯シ國防資源ノ開發取得ニ徹底スルト共ニ占領地域ノ民心ノ安定ニ資スルヲ以テ根本方針トス

0119

別紙

日本側要求條件試案

- （本條件ハ大局的見地ニ基キ機宜取捨修正スルコトアルモノトス）
- 一、支那ハ滿洲國ヲ承認スルコト
- （本項具現ノ方式並時期ニ付テハ別途考慮スルコトヲ得）
- 二、支那ハ抗日政策ヲ放棄シ日支善隣友好關係ヲ樹立シ世界ノ新情勢ニ對應スル爲日本ト共同シテ東亞ノ防衛ニ當ルコト
- 三、東亞共同防衛ノ見地ヨリ必要ト認ムル期間支那ハ日本カ左記駐兵ヲ行フコトヲ認ムルコト
- （一）蒙疆及北支三省ニ軍隊ヲ駐屯ス
- （二）海南島及南支沿岸特定地點ニ艦船部隊ヲ留駐ス

0120

四、支那ハ日本カ前項地域ニ於テ國防上必要ナル資源ヲ開發利用スル

コトヲ認ムルコト

五、支那ハ日本カ揚子江下流三角地帯ニ一定期間保證駐兵ヲナスコト

ヲ認ムルコト（情況ニ依リ機宜取捨ス）

（註）

右條件ノ外左記我カ方要求ハ實質的ニ之ヲ貫徹スルニ努ムルヲ要ス

記

一、汪、蔣兩政權ノ合作ハ日本ノ立場ヲ尊重シツツ國內問題トシテ處理スルコト

0121

ニ、日支ノ緊密ナル經濟提携ヲ具現スルコト

經濟合作ノ方法ニ關シテハ從來ノ方法ヲ固執セス平等主義ニヨリ

形式的ニハ努メテ支那側ノ面子ヲ尊重スルコトトス

三、經濟ニ關スル現狀ノ調整ハ日支双方ニ混亂ヲ生セシメサル様充分ナル考慮ヲ以テ處理スルコト

0122

REEL No. A-0216

0291

アジア歴史資料センター